



いじめをなくすために






いじめはいつでも、どこでも、どの子どもでも起こりうるものです。学校では、これまでも「いじめは絶対に許されない行為である」ということを全教育活動で繰り返し指導しています。

平成25年9月28日に「いじめ防止対策推進法」が施行されたことは既にご承知のことと存じますが、いじめの禁止が法律で規定されただけでなく、いじめの防止に向けた保護者の責務も示されました。

少しでも早い段階で子どもたちの悩みや不安等をキャッチし、それに伴う身体的、精神的あるいは行動面の様々な変化に適切に対処できれば、いじめは減っていくと考えられます。家庭や地域の皆様と学校とが手を取り合っって子どもたちを見守り、安心感を与え、みんなでいじめのない小山市を目指していかなければなりません。

子どもの悩みをキャッチする視点としてこのチェック表を参考にして頂き、ご家庭でご活用いただければ幸いです。



衣服や 持ち物	<input type="checkbox"/>	洋服がよごれたり、やぶれたりしている	
	<input type="checkbox"/>	持ち物がなくなることが多い	
	<input type="checkbox"/>	教科書やノートなどが落書きされたりやぶれたりしている	
身 体	<input type="checkbox"/>	身体にアザや傷があったり、鼻血を出したあとが見られたりする (衣服にかくれていて見えない部分にも注意)	
	<input type="checkbox"/>	食欲がなくなる	
	<input type="checkbox"/>	頭痛、腹痛、吐き気、不眠などを訴える	
感 情	<input type="checkbox"/>	表情が暗くなり、親や家族と視線を合わせるのを避ける	
	<input type="checkbox"/>	口数が少なくなり、学校や友人のことを話さなくなる	
	<input type="checkbox"/>	いらいらしたり、おどおどしたりするようになる	
行 動	<input type="checkbox"/>	夜中や休日に呼び出されるようになる	
	<input type="checkbox"/>	かくれてこそこそ電話をかける	
	<input type="checkbox"/>	親や家族に暴力をふるったり、口ごたえをしたりする	
	<input type="checkbox"/>	外で遊ばなくなり、部屋に閉じこもる	
	<input type="checkbox"/>	電話が鳴るとおびえる	
	<input type="checkbox"/>	お金の使い方が荒くなる	
	<input type="checkbox"/>	家族の財布などからお金を抜き出す	
	<input type="checkbox"/>	欠席や遅刻が多くなる	
	<input type="checkbox"/>	勉強する意欲がなくなり忘れ物が多くなる	
その他	<input type="checkbox"/>	「学校がおもしろくない」「学校に行きたくない」などと訴える	
	<input type="checkbox"/>	気になる電話がかかってくる	
	<input type="checkbox"/>	見かけなかった友人がよく訪ねてくる	
	<input type="checkbox"/>	いやがらせの手紙や紙切れがある	

いじめを察知したり、気になる様子があったりした場合は、まずは保護者の皆様がお子様から直接お話を聞いてあげてください。「そうか、つらかったね。」といった共感的な聴き方をすると、子どもはより打ち明けやすくなります。その後、学校にご連絡ください。家庭と学校が協力して解決に向けて動き始めることが大切です。